医薬情報254(1)

慢性心不全の血液検査

85才の男性が、半年前に胸に水が貯まっていて、某病院で特に悪いものではなくて「心不全」によるものということでした。その少し前から、坂道歩行時に息切れがしたり、足のむくみや夜間頻尿が指摘されていました。NT-pro-BNP値は1、782でした。そして利尿剤を服用始めた処です。

今、血液検査で最も信頼されるのはNT-pro-BNPは心臓に負担がかかり始めた初期から上昇する検査で、その基準値は一般的に125です。しかし、7５歳以上では1800以下であればOKとのことです（かなりの隔たりです）。

**・６０００以上：心血管病の危険性が高い。**

 **・８０００以上：心不全入院が高くなる。**

**・９０００以上：心血管病死亡率が高い**。

*実は、*通常125以下が基準値になっていますが、これでは厳しく過ぎます。

**50歳までなら450pg/ml、50歳～75歳までなら900pg/ml以上、**70歳以上では1800以下などと基準値にかなりの幅があり、肥満や腎機能障害でも高値を示します。

・６０００以上：心血管病の危険性が高くなる

・８０００以上：**心不全入院の危険性が高くなる**

・９０００以上：心血管病死亡率が高くなるといった具合です。

そして、「心不全」を引き起こす3大原因は、**虚血性心疾患（心筋梗塞など）、高血圧性心疾患、弁膜症などです。**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 2023.1/21　藤田神経内科　理事長